当日出店したパン屋さんやハンドメイド作家さんに加え、第４回の特別企画としてコラボパンを開発したパン屋さんと学生さんにもお話を伺いました。

出店パン屋さん

笑顔ってやっぱりいいですよね

３年前、独立して自分たちのお店を出そうという時期に、妻が偶然、藤井さんたちと出会い、出店のお誘いを受けました。突然でしたし、開店予定日からわずか３カ月後の開催とのことで無理かなと思ったんです。でも、お話を伺うと「大切な人たちが笑顔になるパンを作りたい。人とのつながりを大切にしたい」という私たちの想いと「パンでつながる笑顔の輪」というぬまづパンまるしぇのコンセプトが見事に合致していたんです。「それなら出るしかないよね！」って。今思えば運命だったのかもしれませんね。

店内には鈴木さんが愛情込めて作ったパンが並んでいます。

Bakery 25
鈴木健之さん・扶美子さん

１回目からずっと参加していますが、私たちも含め、パン屋さんみんなもお客さんとの出会いを楽しみ、会場全体に笑顔が溢れていていなって感じます。手伝いに来た父がまちなかに人が溢れ誰もが楽しそうな様子を見て「昔の沼津を見ているようだよ」と言ってくれたのも嬉しかったですね。

店名の「25（ニコ）」にもあるように生まれ育った沼津に笑顔が溢れ続けるよう、その日その時出会った人を笑顔にするおいしいパンを作り続けていきたいです。

ハンドメイド作家さん

作家活動の輪が広がりました

小さい頃から物を作るのが大好きで、アクセサリーなどを作り委託販売をしていました。せっかくなら自分の作品で地元の人を笑顔にできたらと思い、イベントへの出店を考え始めたところ、偶然、ぬまづパンまるしぇを見つけたんです。募集は締め切られていたのですが、思い切って「出店したいんです！」と問い合わせてみたら、想いが通じたのか出られることになり、とても嬉しかったです。

いざ出店が決まっても経験のない自分は不安な気持ちでいっぱいで。パンまるしぇに出店する作家さんの交流会に勇気を出して参加し、自己紹介で正直な気持ちを打ち明けたらみなさん親身になって下さり、試しに他のイベントにも出てみようよと誘ってくれる人までいました。その中の一人は、今では相方と呼べる大切な存在です。

ハンドメイド作家
akindo*;)
渡邉由菜さん

みなさんの支えもあり迎えた当日は、お客さんの数が桁違いで驚きましたが、とにかくみんなが温かくて。一度通り過ぎたけど気になってまた来たよとか、こんな作品が好きよとか声をかけてもらうだけで感動してしまいました。

私の作家活動の輪を広げ、夢を大きくしてくれたぬまづパンまるしぇ。とにかく温かくて、人と人とのつながりが強いのが一番の魅力です。

コラボ企画に参加したパン屋さん

私たちパン屋も学ぶことがたくさん

「お客さんをもっと笑顔にできることってなんだろう」。そんな想いで始まった新企画でした。「コラボパン企画に協力してくれませんか」とオファーがあった時にはふたつ返事でOKしていました。

面白そうだと思う反面、個性的なパン屋が集まりひとつのものを一緒につくるということに不安もありましたが、自分たちの技術や知恵をフル活用して「この日だけの特別なパンをつくろう」という熱意も一緒に集まったんですよ。

調理や製菓を学ぶ学生たちの参加も新鮮でしたね。普段から若者の感性を取り入れることの大切さを感じているんです。意見を出し合ったり、将来の夢などを聞くことは私たちパン屋にもとても刺激になりました。学生たちが自ら考え「お客さんたちに喜んでもらおう！」と必死になる姿は活き活きしていて羨ましいと思うくらい。とても頼もしかったです。

今回のコラボパン企画の経験が糧になり、自分自身が本当にやりたいことを見つけ、一生の仕事としてくれたら嬉しいです。それが沼津のパン屋だったらなおさらですね！

石窯パン工房しゃんぴによん
野本幸男さん

パン屋さん６店舗と調理や製菓を学ぶ学生がタッグを組んでぬまづパンまるしぇだけの限定コラボパンを作りました！

ぬまづパンまるしぇ
限定コラボパン
「輪（わ）～smile～」

鈴木学園　中央歯科衛生士調理製菓専門学校
増島麗さん（左）永井花歩さん

コラボ企画に参加した学生さん

夢に近づくとっても貴重な体験

将来、自分のお店を持ちたいと思っていて、パン屋さんたちのお話を聞けるチャンスですし「コラボパン」と聞いて面白そうって思わず参加しました。

パン屋さんたちと話してみると、私たちでは気付かない細かい所にまで気を配っていることに驚きました。味や見た目はもちろん、食材にこだわり、購入した人が食べやすいように成形の仕方や焼き方にも気を配る。パンを作って売ることの大変さを学びました。みんなで考えたレシピができあがった時はすごく嬉しかったのを覚えています。

いざ本番に向けてスタートしたら、５００個という今まで作ったことのないその数にびっくり。私たちにできるかなあって。大変なこともあったけれど、自分たちが作ったパンをお客さんが食べて笑顔になってくれるって思ったら、作るのがすごく楽しかったんです。

自分たちでやりきったからこそ、自信をもって宣伝できたし、お客さんの笑顔を直接みられて本当に幸せでした。この体験こそ、将来、私たちがやりたいことなんだ！って感じることができました。

１万人を超える人たちの笑顔がまちなかに溢れた「ぬまづパンまるしぇ」。そこにはお客さんに喜んでもらうことはもちろん、スタッフを含めたイベントに関わる全ての人が笑顔になってほしい、イベントを通じてたくさんの出会いとつながりがうまれてほしいという確かな「想い」がありました。

市内では、沼津の魅力を活かしたイベントがたくさん開催されています。そのイベントひとつひとつに主催者をはじめ、まちを盛り上げたいという様々な人の想いが詰まっています。

その想いに触れ、同じ目線で楽しむことで、今まで以上に沼津の魅力を感じることができ、毎日の生活が豊かになっていくことでしょう。

こうした想いが広がることが、まちの賑わいにつながるのではないでしょうか。